

人形劇団・劇団「博士の仲間たち」

※これは秋山シュン太郎の私塾として活動しています。

※公募生は「講座生」として授業を行います。

○目的

語り・セリフの訓練と優れた人形劇・語りを魅せる

○劇団名

(人形劇団・劇団)「博士の仲間たち」(プロ劇団・桜座一家の妹劇団)

※大きくは「桜座一家」というグループに属します。

「桜座一家」とは、乙女文楽ならびに説経節、講談、他プロの人形師とのコラボした演劇などを主な活動としています。

○上演作品の特徴として

「語り」が売りの集団です。

語りとは、落語、講談、浪曲などを指します。

その「語り」を取り入れた楽しいジャンルの作品を創作し、上演します。

語り+人形劇、語り+お芝居

※語りなので、台本の全てを記憶する必要がありません。

そのためたくさんの公演ができます。

○作品

「クジラに乗ったお月様」(ファミリー向け)「あめあめふれふれ」(大人向け)

(説経節)「しんとく丸」「山椒太夫」(大人用)、(講釈)「天王寺蕪一代記」、

「フランダースの犬」「走れメロス」「シンデレラ」(製作中)(大人用一部子ども用)

○博士の仲間たちのシステム

3部門に分かれています。

・劇団員、研究生、講座生の3つです。

それぞれの授業内容は

・劇団員は上演活動に向けた台本稽古。

・研究生は年間の課題を見据えての稽古。劇団員の公演活動の補助

・講座生は基本的なセリフ・動き、簡単な語りの勉強から始めます。

※劇団員は自主公演(チケットノルマあり)があります。

※研究生、講座生は公演のスタッフならびに受付等もやっていただきます

(強制ではありません)

○稽古日程

月に2回程度、火曜日

劇団：10時から（稽古場所によっては9時半から）

研究生：13時から（稽古場所によっては13時半から）

講座生：15時15分から

○今決まっている稽古日（すべて火曜日です）

5月9日、30日、

6月6日、27日、7月7日、18日、8月22日、29日、

9月19日、26日、10月10日、24日、

4月に出演する人の追加稽古が決まっている日

5月12日、9時半から

○稽古場所

天王寺区民センター（谷町線・四天王寺前夕日丘1・2号出口、北へ歩いて1分）

〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町7-57

06-6771-9981（場所がわからなければ連絡してください）

入ってすぐ電子掲示板があります。そこで「博士の仲間たち」を探して稽古部屋を確認し、入室してください

○受講料（チケット制、5枚1組を買っていただきます）

劇団員2200円（1枚）2時間

研究生2500円（1枚）2時間

講座生2500円（1枚）100分

公演のための追加稽古2200円（1枚）

（※公演に出演する人だけお買い求めください）

※毎回チケットに名前、日にちを書いて提出してください。

○授業内容

セリフの稽古、語りの稽古、歌・舞の稽古

（将来的には）三味線、謡などの習得

○決まっている公演日

4月22日（土）山本能楽堂

5月16日（火）

6月18日（日）丹波篠山公演

○台本立て（1500円）、（出演公演が決まり次第、袴（3500円）は自前になります）入団の際、購入予約をしてください。

出演が決まったら、統一した衣裳となります。下は統一ハカマ、上は自前の黒の着物と色物着物、カツラ（?）、かんざし（?）等。

※公演が決まりましたら、袴（はかま）の購入が必要になります。その際は、身長をお知らせください。

※受付でも使いますので、使用する1週間前に予約してください。

○劇団員に昇格するためには

博士の仲間たちは、劇団員になってもらい上演活動に参加してもらうのが目的です。

実力主義ですので、実力が上がれば研究生、劇団員へと昇格します。

○講座生に関しては、条件はありません。またいつまでも講座生に留まっていただいても構いません。

○LINEについて

連絡は全てLINEで行いますので、LINEのIDアドレスをお知らせください。

わからなければ誰かに教えてもらうか、お尋ねください。

またガラケーの方は、メンバーの人に連絡してもらえよう仲間になってください。

○保険について

イベント保険に入ってもらいます。1000円（年間）

○みなさんの所属はこちらになります

人形劇団・劇団 桜座一家、博士の仲間たち 代表 秋山シュン太郎

所属事務所 （有）オフィスビーワン

〒546-0043 大阪市東住吉区駒川3-21-6

06-6628-6565 sakurathefamily@gmail.com

協力 NPO 法人発起塾